

第5学年外国語科学習指導案

令和5年11月17日(金)
5校時 13時30分～14時15分
由布院小学校 5年2組 35名
指導者 T1 大久保 啓子
T2 安達 千華
ALT 三重野 優子

1.単元名 「Welcome to Japan!」～日本のアニメの魅力を伝えます～ (海外から見た日本 Youは日本の何が好き?プロジェクト!)

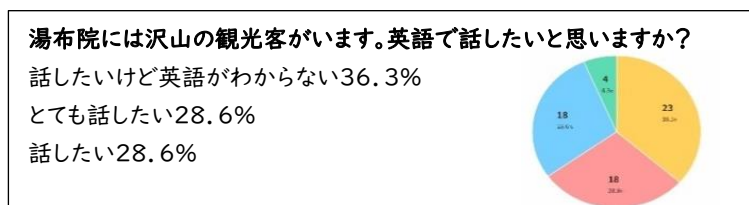
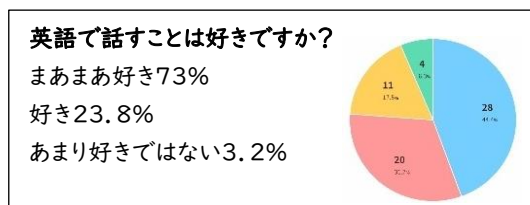
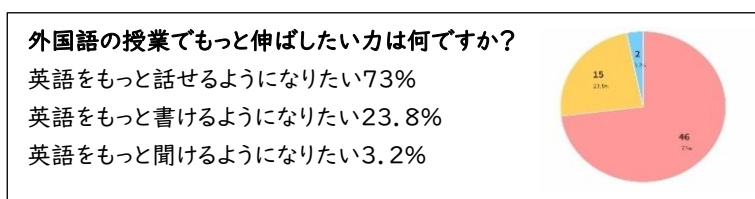
教材名 NEW HORIZON Elementary English Course5 Unit7 Welcome to Japan!

2.単元について

(1)児童について

本学級の児童は、これまでの外国語の授業において、名刺交換をしながらの自己紹介や、誕生日のインタビューをしてイングリッシュカレンダーを作成する活動等を行ってきた。どの単元においても意欲的に取り組み、楽しんで友だちや先生と外国語での簡単なやり取りする姿が見られた。また、インタビューの活動では、あいさつや反応など会話に必要な表現にも慣れていき、コミュニケーションをとりながら話す経験を重ねてきた。

9月にアンケートを実施すると、5年生63人中、73%の児童が「英語をもっと話せるようになりたい」と答えていることが分かった。また、96%以上が「英語で話すことは好き」と答えており、意欲を持って取り組んでいることが分かった。一方、「外国の人と話してみたい」と考えている児童が多くいるが、「話したいけど英語がわからない」と答える児童も36.3%いる。これは、外国の人ともっと話せるようになりたいという意欲の表れと捉える。



2学期に入り、児童は、新出のフレーズを話すことは、楽しんで習得しようとしているが、既習の表現を取り込んだり加えたりして話すことはまだまだ苦手としている子が多い。声の大きさや表現内容にも個人差があり、自信がなさそうな姿も時折見られる実態がある。

(2)教材について

本単元のゴールとして、湯布院町へ訪れる海外観光客やAPUの学生に、日本のアニメの魅力を伝える言語活動を設定した。この言語活動は、「観光客と話してみたい」という願いをもつ児童にとって、明確に相手意識をもち、既習事項を使おうと工夫することができる内容である。題材は、日本文化の中でも、児童の興味を引きやすく海外の方にも人気のあるアニメを取り上げることにした。実際に、湯布院町には様々な観光名所があるが、アニメショップは連日、多くの海外観光客で賑わっている。この立地条件を有効に使った「日本へ来た観光客に日本文化の代表であるアニメの魅力を伝えよう」という言語活動は、由布院小学校ならではの活動であるとともに、生きたコミュニケーションの場を設定することができる活動であると考えられる。

また、日本の素晴らしさを伝えることで自国理解をし、海外の方のものの見方にふれることで国際理解を深め、より「話したい」という意欲と、「話せた」という満足感をもつことができる教材になると考えている。自信をもって相手に伝えようと工夫したり、内容を整理して、自分の考えや気持ちを自ら工夫したりすることが期待できる。

※言語活動の視点 【他教科との関連:総合的な学習の時間】

1	相手意識 目的意識	海外からの観光客や APU の学生に、更に日本の魅力を知ってもらうために、日本のアニメについて紹介する。
2	真正性	実際に由布院駅やAPUを訪ね、直接海外の方に自分がお勧めしたい日本のアニメについて紹介したり、相手に好きなアニメについて尋ねたりする。 また、総合的な学習の時間において、その様子などを4年生と6年生に紹介する。
3	指導事項と の整合性	本単元の「We have ~ in … .」「I like ~.」「What anime do you like?」を活用する。既習の「It's ~ .」「He can ~ .」などで工夫しようとしている。

(3) 指導について

指導にあたっては、以下の3点について特に工夫していきたい。

① 意欲をつなぐ日常的な手立て

外国語の授業は週2日となっており、翌週まで意欲を持続させることが難しく、自信をもてる児童ともてない児童の二極化が見られる。そこで、児童の学習をつなげていくために、タブレット端末を効果的に活用する。

具体的には、第一時より会話のやり取りの場を設定し、学習した表現を、ロイロノートに一人二役で記録させた。この取組に対する児童の反応も良く、授業だけでなく家庭学習(E-Tube)にも取り入れた。自主的に内容を工夫する児童の姿も見られている。授業を重ねるごとに自分のやり取りが上達している事が分かり、週に2日しかない外国語の時間にも、児童が目的と意欲をもって取り組めるようになってきている。

授業では、ふり返りでアンケート機能を使い、画面掲示しながらできたことや難しかったことを、一人で解決するのではなく全員で共有し、できなかった表現を授業の最後に補うようにする。また、E-Tubeの内容から、児童のつまずきを焦点化して次時の展開を工夫するとともに、ALTのお手本動画をロイロノートに保管して、児童がいつでも見ることができるようにする。

E-Tubeは、給食時間等にながし共有している。「自分も友だちの表現を真似してやってみたいな」と思う児童も増え、個の活動と協働的な活動を繰り返すことで、外国語で話すことの意欲づけに効果的であると考える。

② 地域や学校の特性を生かした体験活動の充実

隣接する由布院駅で多くの外国人観光客と接することができたり、市のバスを利用してAPUを訪問できたりと、由布院小学校の地の利を生かした取り組みを大切にしていきたい。しかし、コロナ禍で人との距離を保たなければいけない授業を経験した児童にとっては、豊かなコミュニケーションを性急に求めることは、負担も少なくない。

「意欲をつなぐ」学習を行う事によって、児童が自分の表現内容を見直し、自信をもって主体的に話せるようになることを期待している。そこで、今回は本単元と前の単元を関連づけ、『海外から見た日本 Youは日本の何が好き?プロジェクト』と題して行う。それぞれの単元は、次のように計画した。

- ・Unit④ アニメキャラクターのできることを友だちにクイズで紹介する。
- ・Unit⑥ 和食について由布院駅で紹介する。
- ・Unit⑦ 日本のアニメについて由布院駅とAPUで紹介する。

最終ゴールの『「Welcome to Japan!」～日本のアニメの魅力を伝えます～』に向けて、自国理解と国際理解を深めながらコミュニケーション力を高め、紹介文の内容を自然に増やし、意欲的に伝えられるようにしたい。

③ 総合的な学習の時間との教科横断的な学習

由布市では、毎年『由布学』として、由布市にある「ひと・こと・もの」を通して学ぶことによって、思考力や判断力、表現力、学びに向かう力を育てている。1学期は、「湯布院町の魅力」と題して、一人一人が、湯布院の魅力を調べたものをタブレットにまとめて提案した。今回は、外国語と総合的な学習の時間とを横断的に学習することで、言語活動の条件である、相手意識・真正性(ほんもの)を大切にしたい。

- ・Unit⑥ 自分たちの和食ランキング調査と、海外観光客の和食ランキング調査をする。
 - ・Unit⑦ 自分たちの日本のアニメランキング調査と、海外観光客の日本のアニメランキング調査をする。
 - ・Unit⑥⑦で、海外観光客と交流した内容をまとめ、4・6年生に湯布院の素晴らしさを紹介する。
- 日本(湯布院)の魅力を伝える学習を通して、湯布院の素晴らしさを改めて実感してほしいと考える。

3.単元の目標

湯布院町に訪れた海外観光客やAPUの学生に、日本のアニメを「見てみたい!」「おもしろそう!」と思ってもらうために、自分の紹介したいアニメについて、「登場人物のこと」や「お気に入りポイント」を整理した上で、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4.関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと (発表)	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す事ができるようにする。
--------------	--

5.単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	(知識) We have ~ in What ~ do you like? など、日本のアニメを紹介する表現及びその関連語句などについて理解している。 (技能) 自分の紹介するアニメについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す技能を身に付けている。	海外の方に、日本のアニメの魅力を伝えるために、紹介したいアニメについて、「登場人物のこと」や「お気に入りポイント」を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話している。	海外の方に、日本のアニメの魅力を伝えるために、紹介したいアニメについて、「登場人物のこと」や「お気に入りポイント」を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて、話そうとしている。

6.指導と評価の計画(単元の指導計画)(全8時間)

単元計画		評価の計画		
単元のゴール「Welcome to Japan!」 ～日本のアニメの魅力を伝えます～		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1時	「日本の好きな季節や文化、アニメについて伝え合おう①」 ・日本の好きな季節や文化、アニメについて、教師の Small Talk を聞き、教師とのやり取りを通して、尋ねたり答えたりする表現が理解できる。 ・湯の坪通りの様子を見せ、アニメ文化の人気を知り、単元のゴールと学習の見通しをもつことができる。	【話すこと(発表)】 季節・文化等を表す語句や表現について理解している。 We have ~ in I like ~ . What ~ do you like? I like ~ . Why do you like ~?		●:記録に残す評価
(総合的な学習の時間)日本のアニメについて知り、紹介するアニメを考える。				
第2時	「日本の好きな季節や文化、アニメについて伝え合おう②」 ・日本の好きな季節や文化、アニメについて、教師や友だちと何度もやり取りすることを通して、話したり聞いたりすることができる。	【話すこと(発表)】 季節・文化等を表す語句や表現について理解している。 We have ~ in I like ~ . What ~ do you like? I like ~ . Why do you like ~?		
(総合的な学習の時間)由布院小 5年生版!日本のアニメランキングを作成する。				
第3時	「由布院駅へ行き、日本のアニメを紹介する準備をしよう。」 ・日本のアニメについて、海外の方に紹介する教師の Small Talk を聞いたり、教師や友だちとやり取りをしたりすることを通して、話したり聞いたりすることができる。	【話すこと(発表)】 挨拶やアニメの紹介、質問などの表現を用いて、海外の方にアニメを紹介する技能を身に付けている。		

第4時	「由布院駅へ行き、日本のアニメを紹介しよう。」～in Yufuin station～ ・由布院駅へ行き、海外の方に自分の伝えたいアニメを紹介することができる。	【話すこと(発表)】● 挨拶やアニメの紹介、質問などの表現を用いて、紹介する内容を海外の方にアニメを紹介している。		
第5時 本時	『APUの学生に「おもしろそう!」「見てみたい!」と思ってもらえるために自分や友だちのアニメの紹介文を、Updateさせよう』 ・自分の推しのアニメの紹介文の内容を、APUの学生が、日本のアニメを「見てみたい!」「おもしろそう!」と思ってもらうために、どんなことを伝えたらいいかや、既習内容で使える表現がないか、話し合う活動を通して、自分の考えを加えてより詳しくすることができる。		【話すこと(発表)】● アニメの紹介について、より詳しく伝えるために、既習表現を付け加えたり、文の量を増やしたりして紹介している。 (録画)	【話すこと(発表)】● アニメの紹介について、より詳しく伝えるために、既習表現を付け加えたり、増やしたりして紹介しようとしている。 (行動観察・ふりかえりシート)
第6時	「APUへ行き、日本のアニメをもっとくわしく紹介しよう。」～in APU～ ・APUへ行き、海外の方に自分の伝えたいアニメをより詳しく紹介することができる。		【話すこと(発表)】● アニメの紹介について、より詳しく伝えるために、既習表現を付け加えたり文の量を増やしたりして紹介している。 (録画)	【話すこと(発表)】● アニメの紹介について、より詳しく伝えるために、既習表現を付け加えたり文の量を増やしたりして紹介しようとしている。(行動観察・ふりかえりシート)
(総合的な学習の時間)ランキングの集計～由布院駅編～、～APU編～4年生・6年生に向けて報告のプレゼン作り【由布学】				
第7時	「Check your step」 ・日本のすてき(季節や文化、和食、アニメ)を先生に紹介しよう。			【話すこと(発表)】● 挨拶やアニメの紹介、質問などの表現を用いて、日本のすてきを紹介しようとしている。(行動観察・ふりかえりシート)

7.本時の指導(5/7)

(1) 題目 自分や友だちのアニメの紹介文を、Update させよう』

(2) 本時のねらい

自分の推しのアニメの紹介文の内容を、APUの学生に、日本のアニメを「見てみたい!」「おもしろそう!」と思ってもらうために、どんなことを伝えたら良いかや、既習内容で使える表現がないかを、話し合う活動を通して、自分の考えを加えてより詳しくすることができるようにする。

(3) 展開

時	学習活動	指導上の留意点(T1、T2)	ALT	評価
2	1. Greeting ・挨拶をする。	○全体に気分や天気等についてたずねる。		
3	2. Small Talk ・前時までの日本のアニメに関する紹介文を復唱する。	○横ペアの友だちと、日本のアニメに関する紹介文を復唱させ、学習内容を想起させる。 Hello. I'm Keiko. Please listen OK? We have anime in Japan. I like ~ . What anime do you like?		
4	3. めあてを理解する。 ・単元のゴールを確認する。	○単元終末の言語活動において、誰に何を紹介するのかを確認させる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 単元 Goal: 「Welcome to Japan!」～日本のアニメの魅力を伝えます～ </div>				
	・本時のめあてと学習の流れを確認する。	○前時までの学習を想起させる。 ・駅前での写真を見せて、前時を思い出させる。 ・前時までのワークシート(マップ)を確認させる。 ○APUの学生に、紹介するアニメが「おもしろそう!」「見てみたい!」と思ってもらうためには、紹介文をどのように工夫したら良いかを問いかけ、本時のめあてを位置付ける。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> Today' s Goal: APUの学生に「おもしろそう!」「見てみたい!」と思ってもらえるために、自分や友だちのアニメの紹介文を、Update させよう </div>				
		<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">くわしく</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">もっと伝えたいこと</div> </div>		
3	4. Thinking Time① ・付け加える文がないかを個人で考えて、マップに書き加える。	○教師のモデルを示し、活動の見通しをもたせる。 ○今まで習ったことや、付け加えるともっと紹介文が詳しくなる表現を見つけさせ、自分のマップに鉛筆で付け加えさせる。 ○T2は、アイデアが浮かばない児童やマップに書けない児童に支援する。	机間指導	
5	5. Comment Time① ・マップに書き加えたことや、困りを出し合う。	○付け加えたことや、言いたいけどどのように言えば良いか分からない表現について、全体で発表させる。 ○表現内容が分かったら、自分でも言えるように練習させる。 ○T2は、日本語から英語への変換する際のアドバイスをする。	パターン Practice	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 期待する表現(予想): 私は(キャラクターが)好き。歌がすき。など </div>				

10	<p>6. Activity① ・マップに書き加えたことを自分の表現に加えて、交流する。</p> <p>7. Comment Time② ・マップに書き加えたことや、困りを出し合う。</p>	<p>○縦ペア、斜めペアで増やした文を加えて交流させる。</p> <p>○友だちとの交流で新たに見つけた表現があれば赤鉛筆でマップに書かせる。</p> <p>○OT2は、友だちに紹介文を伝えられない児童を支援する。</p> <p>○付け加えたことや、どのように言えば良いか分からない表現について、全体で発表させる。</p> <p>○表現内容が分かったら、自分でも言えるように練習させる。</p> <p>○OT2は、日本語から英語への変換する際のアドバイスをする。</p>	<p>机間指導</p> <p>パターン Practice</p>	
2	<p>8. Thinking Time② ・付け加える文がないか考えて、マップに書き加える。</p>	<p>○ Activity①とComment Time②を受けて、新たに見つけた表現があればマップに書き込ませる。</p> <p>○OT2は、紹介文の内容や順番のつけ方に困りを抱えている児童に支援する。</p>	<p>机間指導</p>	
12	<p>9. Activity② ・マップに書き加えたことを自分の表現に加えて、交流する。</p> <p>・本時の学びを記録する。</p>	<p>○最初に交流した横ペアで紹介文を交流させ、最初に比べて増えた表現を確認させる。</p> <p>○OT2は、友だちに紹介文を伝えられない児童を支援する。</p> <p>○会場の先生方をAPUの学生に見立てて、アニメの魅力を紹介させる。</p> <p>○Updateした紹介文をロイロノートに個人録画させる。早くできた児童には、前時の録画と比べてUpdateできているか確かめさせる。</p>	<p>机間指導</p>	<p>【思判表】 《アニメの紹介について、より詳しく伝えるために、既習表現を付け加えたり、増やしたりして》紹介している。</p>
4	<p>10. Reflection ・振り返りをする。</p>	<p>○振り返りシートに記入させる。</p> <p>○録画した内容を全員で振り返る。本時のめあてを確認し、ふり返りを発表させ、APUに向けての活動につながるような声かけをして終わる。</p>		<p>【態度】《同上》紹介しようとしている。</p>

○ 単元終末の言語活動において期待する児童の姿

Hello.	I like Pikachu.
Welcome to Japan.	I like the story.
I'm Okubo Keiko.	The song is good.
Please listen, O.K?	He can ~
We have anime in Japan.	He is cool.
I like Pokemon.	Why do you like Doraemon?
What anime do you like?	Me, too.
	It's nice.
	Do you like Pikachu?